



## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 信太 明  
 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	397	9.6	△11	—	△3	—	△3	—
26年5月期第1四半期	363	12.1	△6	—	△11	—	△6	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 2百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△0.45	—
26年5月期第1四半期	△0.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	918	700	76.3
26年5月期	917	698	76.1

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 700百万円 26年5月期 698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,037	21.3	20	—	20	185.7	20	81.8	2.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	7,502,800 株	26年5月期	7,502,800 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	— 株	26年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	7,502,800 株	26年5月期1Q	7,416,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年6月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により一部に業績改善の兆しがみられ、今後さらなる回復に向けた期待感が高まりつつあります。一方で、4月からの消費増税による駆け込みと反動による国内の消費の冷え込みや、長期化する欧州の政府債務問題や新興国の経済成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続いており、今後の動向が注目されております。

このような状況の中、当社グループは収益力の回復と拡大を最優先課題とし、当第1四半期連結累計期間においては、特に、当社の強みを最大限に活用できる事業領域への選択と集中を進めるとともに、継続的に付加価値の高いサービスを提供できる組織体制の構築と新規事業の開発を実施して参りました。

まず、前連結会計年度において好成果を実現した「組織的なPPCの提案力強化活動」や「継続的な施策の改善活動によるサービス品質の的確なコントロール」を継続して実施することで、前連結会計年度と同様、比較的規模の大きい新規PPCクライアントの獲得や需要期における機会損失を最小限にとどめるなど、売上及び収益を安定的に獲得することができました。

SEOに関しては、国内においては、R&D部門による解析が進み、施策の精度およびサービスレベルが向上した一方、販売体制・営業体制の構築・強化については、課題が残りました。海外法人においては、前連結会計年度に引き続き、主力である成果報酬型SEOの販売をより一層強化いたしました。結果として、海外法人全体では引き続き高い収益を確保できております。一部の地域で検索エンジンアルゴリズムの変更が発生したことで、一時的な順位の変動も見られましたが、前連結会計年度に構築したPDCAサイクルを高速回転させ、仮説検証を繰り返すことで、再び成果が上昇基調に戻りつつあります。また、グローバルマーケティングのサービス領域へ経営資源を重点的に投下した結果、日本企業の積極的な海外進出ニーズとも相まって、日本以外の現地マーケットへのプロモーション支援の需要を取り込むことができました。

さらに国内においては、SEO・PPCと共に収益を支える今後の柱を育てるべく、海外進出支援ソーシャルサイトを開設いたしました。このサービスでは、当社が今までに蓄積してきた海外進出のノウハウと海外法人を有するという強みを最大限に活用することが可能であると考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は397百万円（前年同期比9.6%増）、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失6百万円）、経常損失は3百万円（前年同期は経常損失11百万円）、四半期純損失は3百万円（前年同期は四半期純損失6百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、840百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、77百万円となりました。これは、主に減価償却累計額の増加によるものであります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、214百万円となりました。これは、主に未払費用の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22.9%増加し、2百万円となりました。これは、主に繰延税金負債の増加によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、700百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間にしましては、概ね計画通りに推移しているため、平成26年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	590,966	606,557
受取手形及び売掛金	243,134	222,659
仕掛品	1,156	1,094
その他	16,773	23,217
貸倒引当金	△12,791	△12,777
流動資産合計	839,238	840,752
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,092	20,224
減価償却累計額	△11,988	△12,472
建物(純額)	8,103	7,752
工具、器具及び備品	36,041	35,906
減価償却累計額	△25,492	△26,556
工具、器具及び備品(純額)	10,549	9,349
有形固定資産合計	18,653	17,102
無形固定資産		
のれん	105	68
ソフトウェア	7,513	6,832
無形固定資産合計	7,618	6,901
投資その他の資産		
投資有価証券	16,194	19,122
敷金及び保証金	35,362	34,338
投資その他の資産合計	51,557	53,461
固定資産合計	77,828	77,465
資産合計	917,067	918,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,365	145,824
未払費用	27,671	24,230
未払法人税等	1,942	823
前受金	10,512	9,813
その他	36,816	33,969
流動負債合計	216,309	214,662
固定負債		
リース債務	432	60
繰延税金負債	1,843	2,738
固定負債合計	2,276	2,798
負債合計	218,585	217,461

アウンコンサルティング(株)(2459)  
平成27年5月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年 8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△127,993	△131,373
株主資本合計	685,018	681,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,329	4,944
為替換算調整勘定	10,031	14,071
その他の包括利益累計額合計	13,360	19,015
新株予約権	102	102
純資産合計	698,481	700,756
負債純資産合計	917,067	918,217



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	363,185	397,955
売上原価	270,805	307,950
売上総利益	92,380	90,004
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	99,206	101,160
営業損失(△)	△6,825	△11,155
営業外収益		
受取利息	92	59
解約手数料等	837	66
投資事業組合運用益	3,137	7,122
その他	126	1,316
営業外収益合計	4,194	8,565
営業外費用		
支払利息	29	14
為替差損	8,348	587
その他	8	-
営業外費用合計	8,386	601
経常損失(△)	△11,017	△3,192
特別利益		
関係会社株式売却益	5,088	-
特別利益合計	5,088	-
特別損失		
固定資産売却損	-	33
特別損失合計	-	33
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,929	△3,225
法人税、住民税及び事業税	145	154
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,074	△3,380
四半期純損失(△)	△6,074	△3,380

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,074	△3,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,159	1,614
為替換算調整勘定	△9,531	4,040
その他の包括利益合計	△10,690	5,655
四半期包括利益	△16,764	2,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,764	2,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。